

# 平成25年第6回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成25年8月19日・午前8時41分・受付 No. 1

議席	通告者氏名			
7番	菅野義人	質 問 事 項 ・ 内 容		
		答弁者	答 弁 内 容	
1. 村民にとって希望と帰村意欲の持てる復興計画とするために				
1-1	「復興計画第4版」策定に向けて地区別のワークショップが開始されたが、認識の違いを乗り越えるための十分な議論の積み重ねが必要と考える。10月終期の見直し対応について伺う。	村長		
1-2	財源確保の観点から、地区ごとのワークショップの結果をどのように復興計画に反映しようとしているのか。4次総時の地区別計画のように地区独自の復興予算を設定することにより、復興計画における住民参加を喚起すべきではないか。	村長		
1-3	仮置き場や中間貯蔵施設建設の見直し、硬直的な除染とガイドラインや限定的な除染効果などから、多くの村民が帰村できる環境を整備するためには長期にわたる段階的な復興計画を示す必要があると考えるが、所見を伺う。	村長		
2. 除染効果を高めるための提案について				
2-1	住環境の線量低下のためには、最も汚染度が高い一方「はぎ取り効果」が期待できる宅地周りの土壌を1000cpm以下(0.23μSv/h)にすることで考えると考える。村としての所見を伺う。	村長		
2-2	「いぐね」の枝打ち、腐葉土除去は早期に行う除染方法であり、現時点での効果を高めるためには「林床土」の処理が必要である。埋設を含めて村としての所見を伺う。	村長		
2-3	モニタリングするためには、簡便且つ正確に測定できる機器が求められる。「JA新ふくしま」が農地の汚染マップ作製に使用している「GPS内蔵土壌汚染スクリーニングシステム」を導入検討すべきと考えるが、所見を伺う。	村長		

# 平成25年第6回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成25年8月19日・午前8時41分・受付 No. 1

議席	通告者氏名		
7番	菅野義人		
質問事項・内容		答弁者	答弁内容
<b>3. 不明確な追加除染への対応について</b>			
3-1	追加除染のありかたについて、国との協議がなされているとの答弁が過去にあったが、今までの協議内容等について伺う。	村長	
3-2	村としての追加除染の基準については低減率の低い箇所を要望する旨の答弁があったが、村としては絶対線量の低下も配慮すべきでないのか。見解を伺う。	村長	
<b>4. 食品等の放射能物質測定について</b>			
4-1	内部被ばく防止のため、飲用水や野菜、山菜等の測定を実施し「お知らせ版」で広報しているが、単に数値だけでなく傾向や考察も付け加えるべきと思うが、所見を伺う。	村長	
<b>5. 営農再開のありかたについて</b>			
5-1	モデル除染実施農地で行われている水稻の実証栽培だけでなく、水源地の水質調査を村単独で行うべきと考えるが、所見を伺う。	村長	
5-2	過去に提案した「景観作物栽培」による農地の荒廃防止と帰村者の収入確保策は「的を射た案」との答弁があった一方、「張り合いがないのでは」との職員からの声も聞こえる。再度、村としての見解を伺う。	村長	

# 平成25年第6回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成25年8月20日・午前11時15分・受付 No.2

議席	通告者氏名		
12番	佐藤 長平		
質問事項・内容		答弁者	答弁内容
<b>1. 除染工程表の見直し対策について</b>		村長	
1-1	環境省の除染工程表の見直しが発表されるが、その対策を伺うとともに、までい復興プラン第3版の修正せざるを得ない課題は何か、所見を伺う。		
<b>2. 復興計画の森林除染と森林再生について</b>		村長	
2-1	<p>国が森林除染の方針を示さないなか、しかしながらも森林再生の課題について、村の方針と計画を早急に示すべき時期を迎えている。</p> <p>村は、森林のF S調査結果待ちの方針であるが、森林資源を利用した木質バイオマスの発電や熱供給システムの必要性を考えて行かないと山林除染と復興のスピードが遅くなってしまう。</p> <p>飯館村の林業振興と雇用の確保、発電施設の採算ベースの観点から、北部阿武隈高原を供給範囲とする木質バイオマス発電所の建設は必至である。村長の所見を伺いたい。</p>		

# 平成25年第6回飯館村議会定例会一般質問通告書

平成25年8月20日・午前11時33分・受付 No.3

議席	通告者氏名		
1番	松下義喜	質 問 事 項 ・ 内 容	
		答弁者	答 弁 内 容
1. 災害復興公営住宅について			
1-1	県営住宅の進捗状況について伺う。	村長	
1-2	避難先でも安心して子育てができる県営住宅については、どのように考えているのか伺う。	村長	
1-3	村民の意見を尊重した地域に建設出来るようにすべきでないか、所見を伺う。	村長	
2. 除染について			
2-1	ガンマカメラによる放射能測定業務の状況について伺う。	村長	

# 平成25年第6回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成25年8月20日・午前11時55分・受付 No.4

議席	通告者氏名			
10番	佐藤 八郎	質 問 事 項 ・ 内 容		
		答弁者	答 弁	内 容
<b>1. 健康を守る対策と負担軽減について</b>				
1-1	先の見えない健康問題であるが、将来にわたる村民の健康を守る対策にどのように取組み、国に求めていくのか。	村長		
1-2	安心、安全の帰村が求められるが、村民の健康を守るための検診、治療などの考え方は。	村長		
<b>2. 村民の受けた全ての損害に対する賠償について</b>				
2-1	損害賠償の現実をどのようにとらえ、当然受けるべき賠償を村民の立場でどのように進めるのか。	村長		
2-2	元通りの生活を取り戻すためにも、住居リフォーム、新居取得などへの対応を示すべきでないか。	村長		
<b>3. 除染は、年間1ミリシーベルト以下にすることについて</b>				
3-1	除染とは、放射性物質を除去し隔離することであるが、実態はどのように進められ、村として求めていることと課題は何か。	村長		
3-2	国直轄の除染でも、川内村は年間1ミリシーベルト未満としているが、村は、5ミリシーベルトで村民の低線量被ばくは守れるのか。二次除染で1ミリシーベルト以下は実現できるのか。	村長		

議席	通告者氏名
10番	佐藤 八郎

## 平成25年第6回飯舘村議会定例会一般質問通告書

平成25年8月20日・午前11時55分・受付 No.4

質問事項・内容		答弁者	答 弁 内 容
4. 村民の要求に基づいた復興について			
4-1	復興計画第1版～第3版に示されている各計画における総括と反省、そして課題をどうとらえているか。	村長	
4-2	今後の計画の基本方針と具体的施策は。	村長	
4-3	村民の要求（住居、帰村時期、十分な賠償など）をどのようにまとめ、どのように実施していくのか。	村長	